



海洋安全保障の新たなチャレンジ New Challenges to Maritime Security

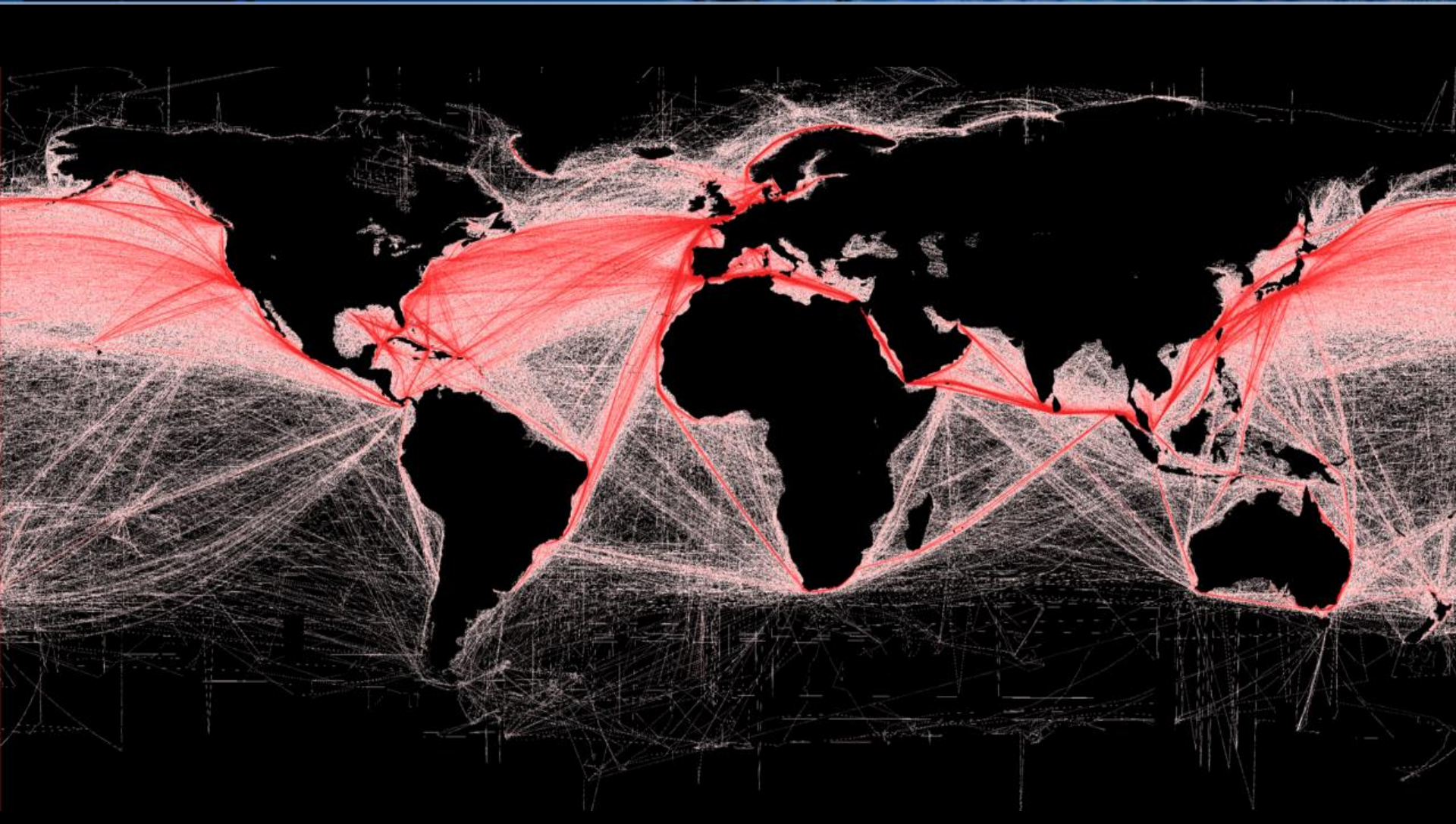
笹川平和財団 海洋政策研究所
主任研究員 倉持 一

ユーラシアブルーベルト Eurasia-Blue Belt



ユーラシアブルーベルトの重要性

Importance of the Eurasia Blue Belt



2013年のAIS (Automatic Identification System : 船舶自動識別装置) の軌跡

ユーラシアブルーベルトの重要性

Importance of the Eurasia Blue Belt



北極の氷解による航路の利用可能性拡大



ユーラシアブルーベルトの重要性

Importance of the Eurasia Blue Belt



新たに登場する 8 の字型の航路



ユーラシアブルーベルトの重要性

Importance of the Eurasia Blue Belt



ユーラシアブルーベルト



中国（習近平政権）の 一帯一路



一帶一路

One Belt One Road



一带一路

One Belt One Road



“一带一路”国际合作高峰论坛

BELT AND ROAD FORUM FOR INTERNATIONAL COOPERATION

2017年5月14日 中国·北京

14 MAY 2017 BEIJING, CHINA



一帶一路の成果

Profit of the One Belt One Road



広西チワン族自治区欽州保税港区ふ頭



一帯一路の成果

Profit of the One Belt One Road



北京南駅を出発する「復興号」

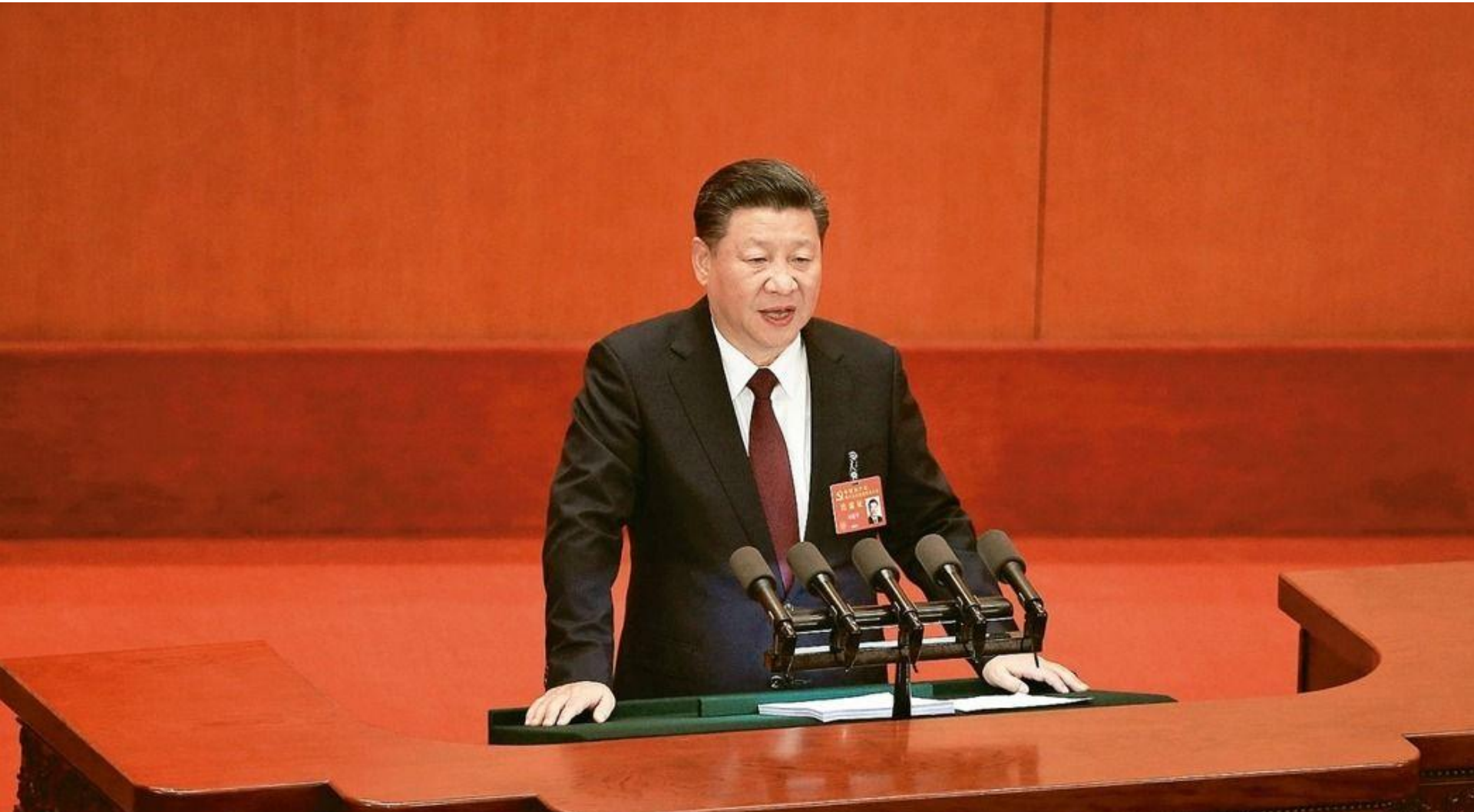


一帯一路の未来

Future of the One Belt One Road



2049年（建国100周年） | 社会主義の現代化強国を築く



一帯一路の未来

Future of the One Belt One Road



社会主義の現代化強国の建設 | 持続可能な経済発展が不可欠



日本（安倍首相）の 地球儀外交



地球儀を俯瞰する外交（地球儀外交）



“Diplomacy that takes a panoramic perspective of the world map”



地球儀を俯瞰する外交（地球儀外交）



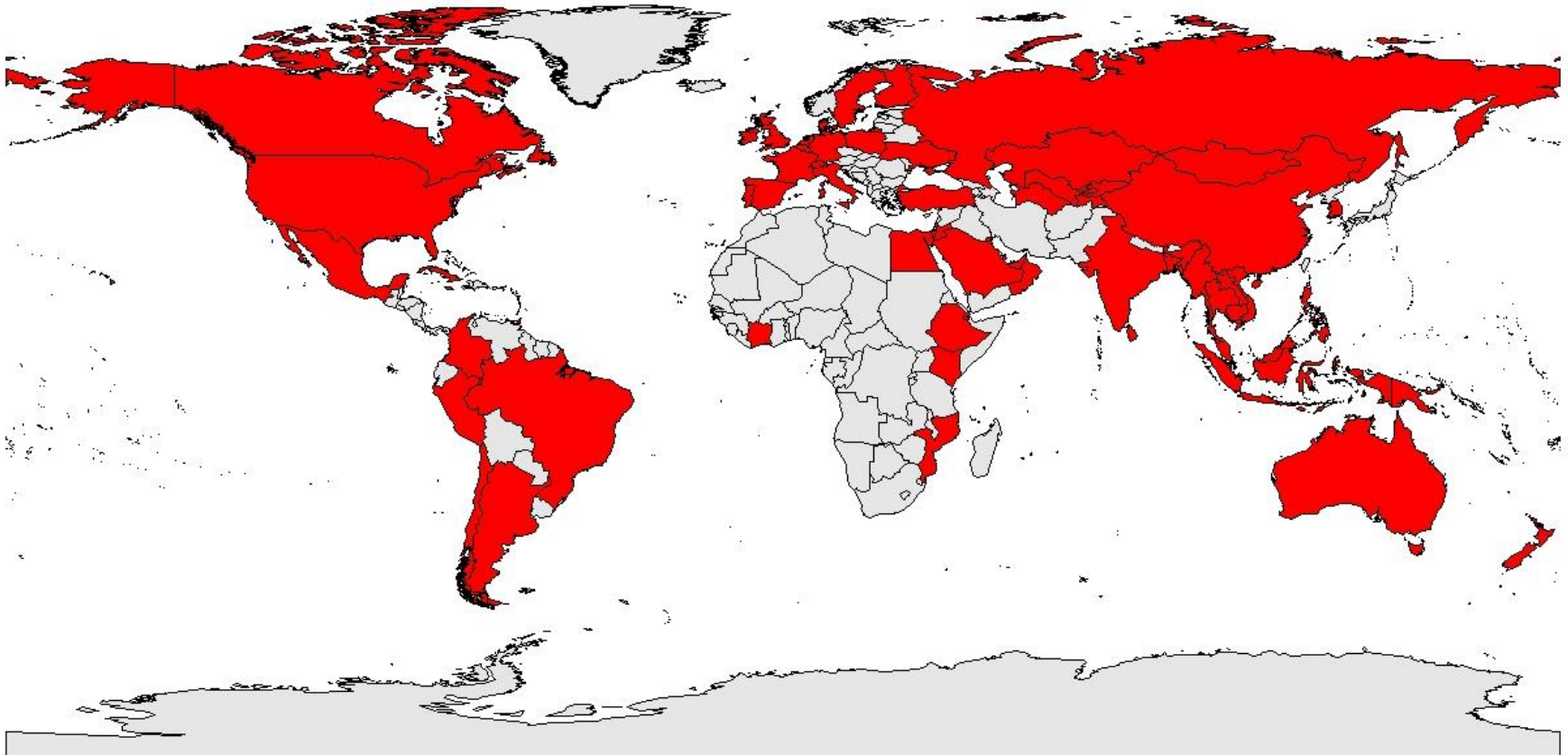
“Diplomacy that takes a panoramic perspective of the world map”





地球儀を俯瞰する外交（地球儀外交）

安倍首相が**2013**年以来訪問した国や地域（**69**か国・**1**地域）

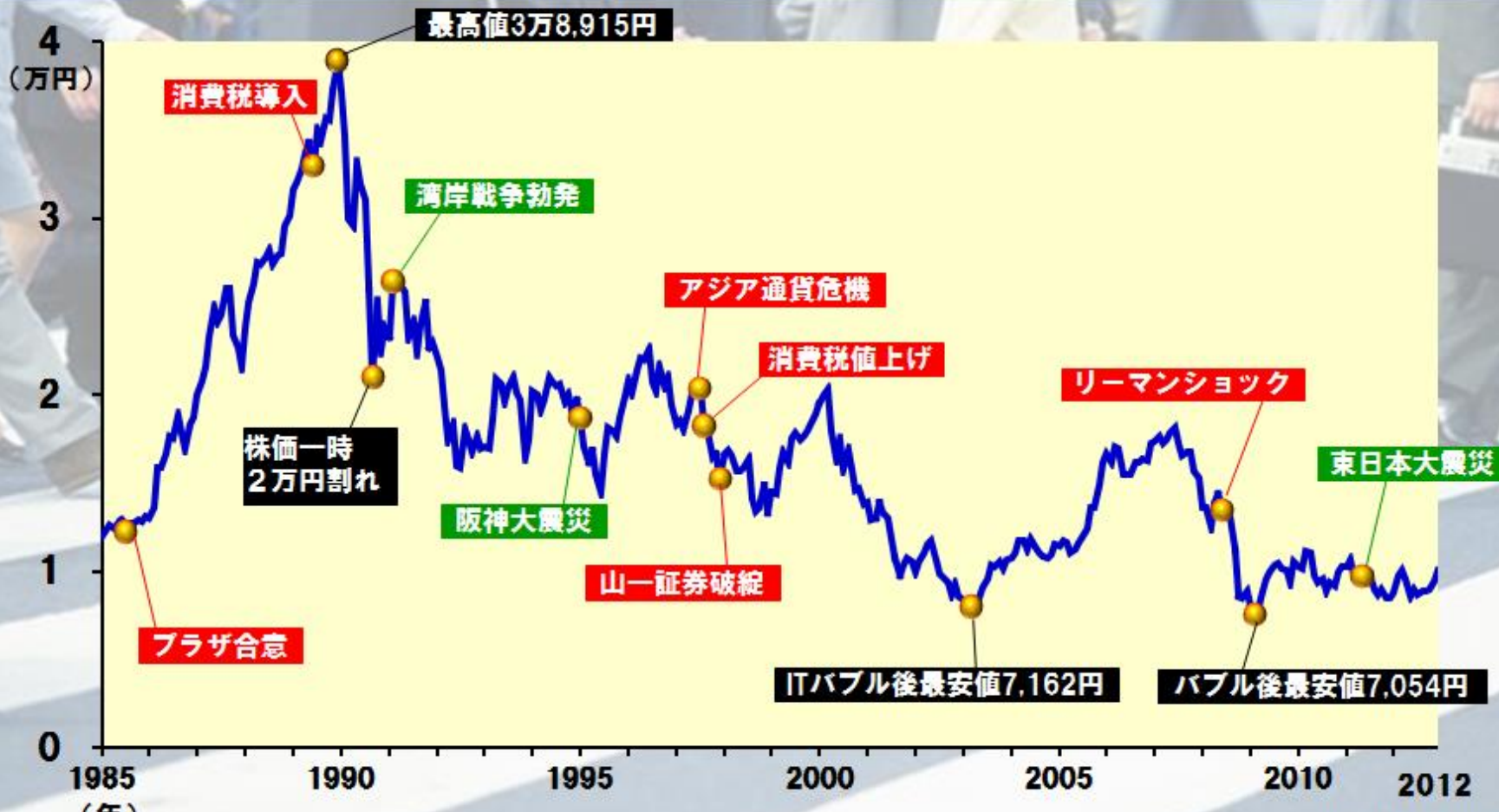


地球儀を俯瞰する外交（地球儀外交）



失われた20年（30年？）の回復 | 持続可能な経済発展が不可欠

日経平均株価の推移



地球儀を俯瞰する外交（地球儀外交）



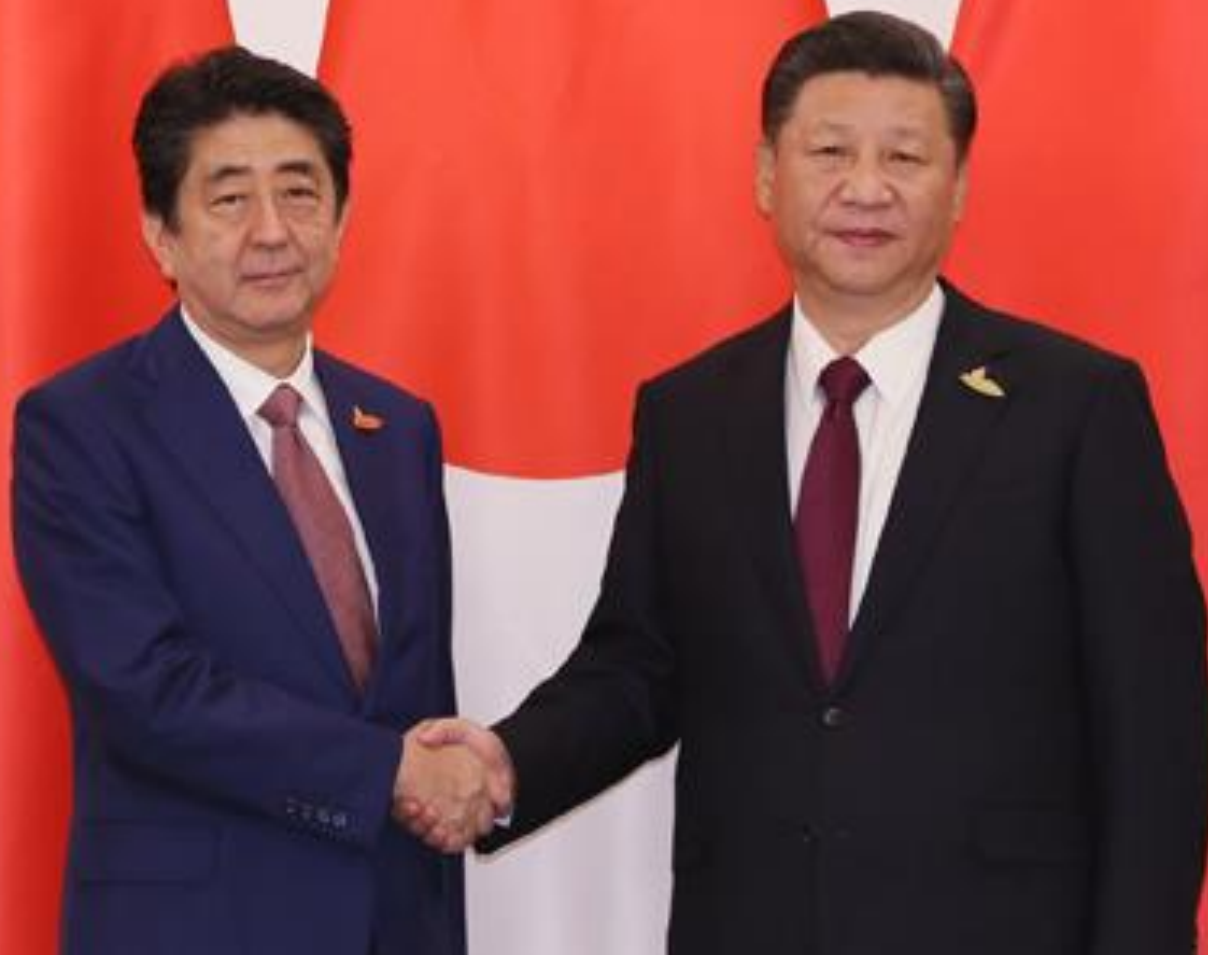
失われた**20年**（**30年**？）の回復 | 持続可能な経済発展が不可欠



共通する日中両国の課題と方策



【課題】 持続可能な経済発展 | 【方策】 他国との協調路線



国際関係のなかの中国

China Among International Affairs

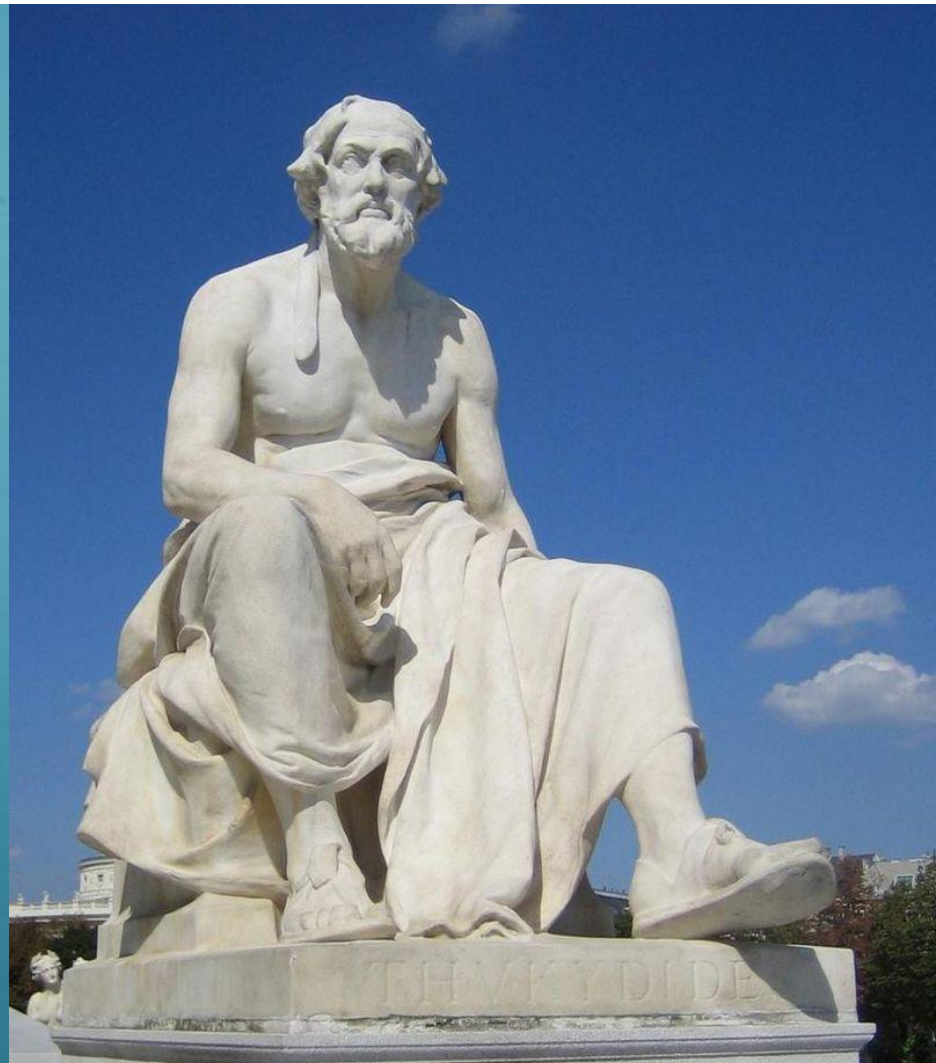
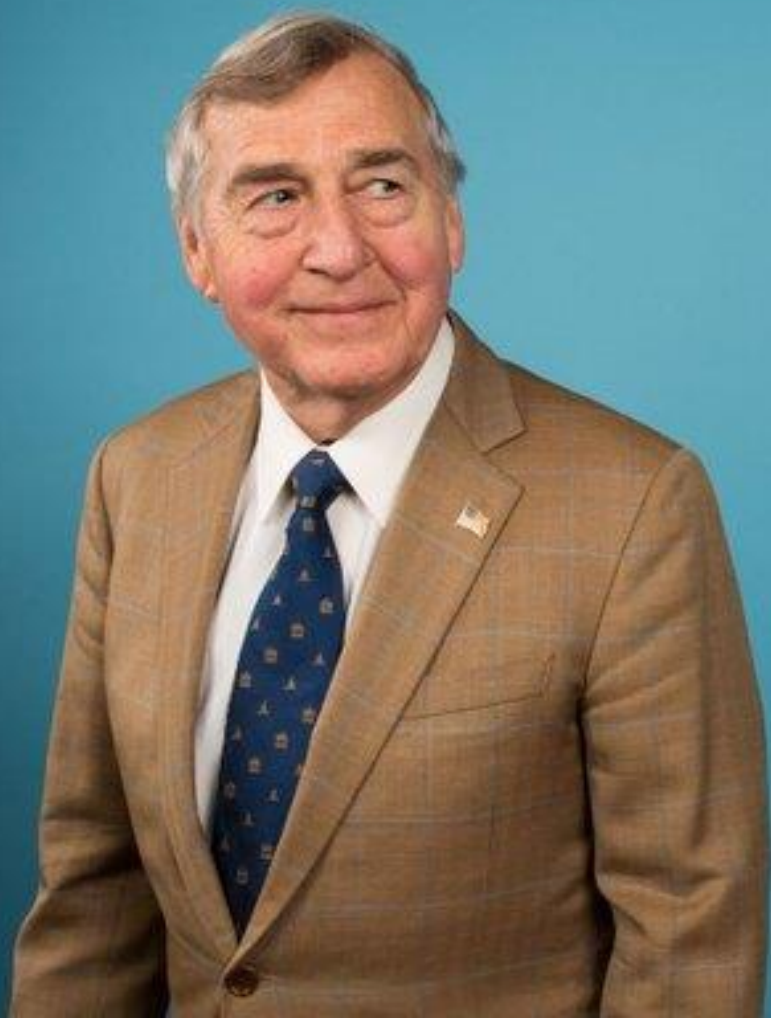


トウキディデスの罠

The Thucydides Trap

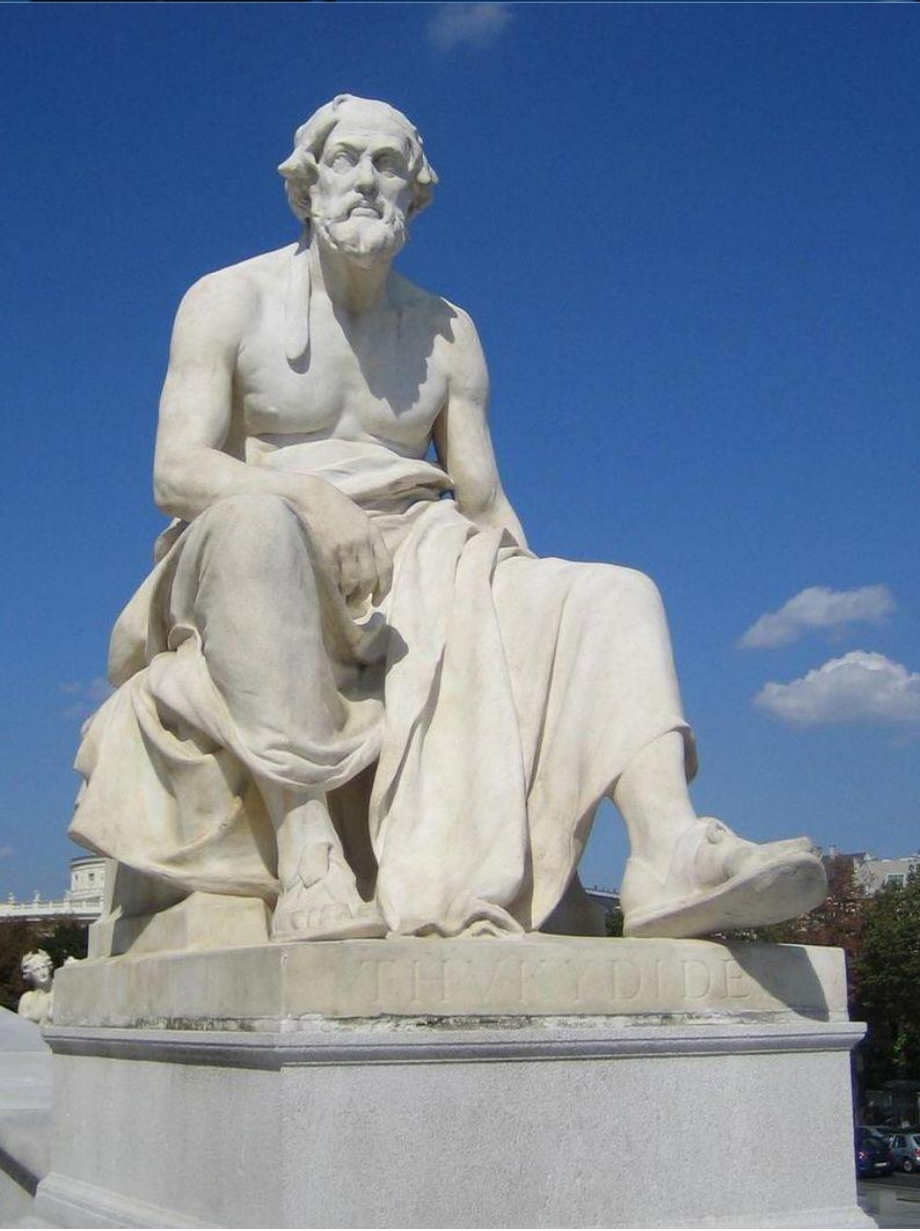
Graham Allison

Thucydides



トウキディデスの罠

The Thucydides Trap



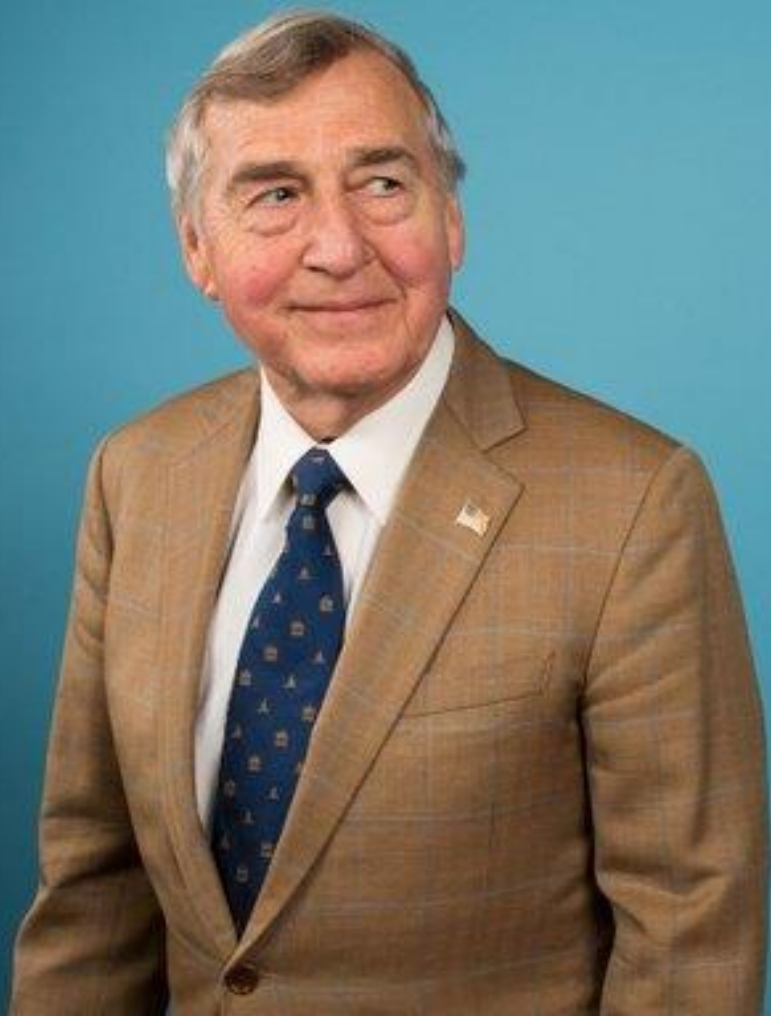
Thucydides

“It was the rise of Athens, and the fear that this inspired in Sparta, that made war inevitable.”

トウキディデスの罠

The Thucydides Trap

Graham Allison



「トウキディデスの罠」とは、台頭する大国が支配する大国に対して取って替わられるという恐れを抱かせる時に起こる、深刻な構造的ストレス (**the severe structural stress**) である。

分析視点を變える

Looking From Another Perspective



米ソ・デタント Détente — U.S & Soviet



会談するブレジネフ・ソ連共産党書記長とニクソン・米国大統領



米ソ・デタント Détente — U.S & Soviet

CONSTRUCTIVE ILLUSIONS

Misperceiving the Origins of International Cooperation



ERIC GRYNAVISKI

国際関係分析では、国家が相手国の考えなどを十分に把握・理解できないことが原因で対立が生じると言う。

しかし、米ソのデタントは両国がお互いに相手国を十分に理解していない状況であったにも関わらず進展した。

これは、デタント当時、米ソ両国が「自国の利益が一番」と強く信じたことで、不思議と対立がやわらいだ。

トウキディデスの罠

The Thucydides Trap

Alexis de Tocqueville



「自国の利益が一番」という考えは、国家として自然なこと。しかし、国家利益の追求のスタイルには二種類あり、「単なる自己利益」と「啓発された自己利益（**enlightened self-interest**）」がある。

「啓発された自己利益」は、「相手国の利益を高めていくことが、自国の利益につながる」という考え方である。

ユーラシアブルーベルトの 海洋安全保障のチャレンジ

New Challenges to Maritime Security



ユーラシアブルーベルトの 海洋安全保障

新たなチャレンジ

- これまで以上に俯瞰的に海洋を捉える
- 国家戦略における海洋の重要性の理解

地球儀外交

一帯一路

010100 000101
000101 010001

ユーラシアブルーベルトの 海洋安全保障の重要ポイント

- 必ずしも相手国の考えなどを十分に理解できなくとも緊張緩和は可能である
- 自国利益を「啓発された自己利益」として捉える





THANK YOU